



1. ITER カダラッシュサイトにおける建設の進展状況

南仏 ITER カダラッシュサイトでの建屋の建設は、2010年8月に本格的に開始されてから順調に進展しています。トカマク複合建屋のピット(幅90m、長さ130m、深さ17m)では掘削作業がほぼ完了し、現在はピットの内壁整備と免震用ベースマット(コンクリート100,000m³、鉄筋3,400トン)の設置作業が行われています(図1手前)。直径5mから24mのポロイダル磁場コイル(ニオブ-チタン製)を製作する巻線建屋(幅49m、長さ257m、高さ18m)は、今年中に完成予定で、来年には最初のポロイダル磁場コイルの巻線作業が開始される予定です(図1左奥)。また、ITER 機構スタッフ500人が働く ITER 機構本部ビル(地上5階地下1階、高さ20m、長さ180m)の工事も来年中頃の完成に向けて順調に進められています(図2)。

2. ITER 計画の展示と ITER 機構職員募集説明会の実施

原子力機構では、我が国から ITER 機構への職員の応募を促進する活動の一環として、これまで国内外で ITER 計

画の展示や ITER 機構職員公募の説明会を行っています。この度、9月20、21日に北九州国際会議場で開催された日本原子力学会2011年秋の大会の原子力機構展示ブースにおいて、ITER 機構職員募集の案内を行いました(図3)。また、10月22日には那珂核融合研究所において開催された施設見学会の会場において、ITER 機構職員募集の案内を行いました(図4)。会場では ITER カダラッシュサイトにおける建設状況や ITER 機構職員の採用予定などについて多くの質問があり、ITER に対する関心の高さが感じられました。

なお、これらの詳細については那珂 ITER ウェブサイト(<http://naka-www.jaea.go.jp>)の「ITER 機構職員募集説明会について」をご覧ください。

(日本原子力研究開発機構 核融合研究開発部門)



図1 建設工事が進むトカマク複合建屋ピット(手前)とポロイダル磁場コイル巻線建屋(左奥)(2011年9月、ITER 機構提供)。



図2 来年中頃に完成予定の ITER 機構本部ビル(2011年9月、ITER 機構提供)。



図3 日本原子力学会2011年秋の大会(2011年9月20-21日於北九州国際会議場)での展示の様子。



図4 平成23年度那珂研施設見学会(2011年10月22日)での ITER 機構職員募集説明の様子。